

平成 25 年 11 月 14 日 00144 号

編集者:佐藤 寿春

北見市幸町 8 丁目 4-4(佐藤整骨院内)

NPO 法人北見市武道振興協会事務局発行

直通:090-5986-0839

代表:0157-22-2212 Fax:0157-23-0581

satou.toshiharu@navy.plala.or.jp

北見武道通信

ニュースレター【事務局情報】

【第 18 回北見市総合武道祭レポート】③少林寺拳法

10月19日の武道祭での3番目の演武団体は、北見市少林寺拳法協会の皆様です。少林寺拳法協会の会長にレポートをいただきました。<18 年を経ての武道館が完成し、感激もひとしお>武道祭に参加した拳士は、北見市武道館が「北見史」の一步となる大切な開館記念日ということで 1 人 1 人が心に残るような演武を披露しようと、当日は日頃の修行の成果を十分に発揮し、迫真の演武を披露することができました。

演武終了後、記念写真撮影とミーティングを行い、拳士それぞれが、新しい武道館で新たな気持ちで稽古精進することを誓いました。(宮末政則)



【剣道情報】北見地方剣道連盟創立 60 周年記念稽古会と記念式典・祝賀会を開催！



このたび北見地方剣道連盟が創立60周年を迎え、11月9日(土)記念事業を執り行いました。北海道剣道連盟藤井稔会長を北見市武道館にお迎えし、記念講演・稽古会を実施し、その後ホテル黒部において記念式典・祝賀会を開催しました。のべ 160 余名の参加のもと盛会裏に終了することができました。この節目を新たな門出として、会員一同、一層の精進を重ね、剣道の普及発展と青

少年指導に努力してまいります。(鎌口幹雄)

連載 中国「老子」の思想 第二十八章 「体制は割(さ)かず」

「雄」の本質を把握したうえで、「雌」の立場に身を置くならば、万物の源泉となることができよう。

そうなれば、「道」にたがうことなく、無心にしてあらゆるものを受け入れる赤子の状態に戻るのだ。

「白」の本質を把握したうえで「黒」の立場に身を置くならば、万物の規準となることができよう。そうなれば、「道」と一体化になって、限りなく広い原初の状態に戻るのだ。

「尊貴」本質を把握したうえで「卑賤」の立場に身を置くならば、万物を包摂することができよう。

そうなれば、「道」の全きはたらきを得て、自然そのままの境地に戻るのだ。

手の加えない原木は、すべて道具のもとである。「道」を体した聖人は、すべての人を統率する。真によく作るとは、手を加えないことである。

原文:知其雄、守其雌、爲天下谿。爲天下谿、常德不離、復歸於嬰兒。知其白、守其黒、爲天下式。爲天下式、常德不忒、復歸於無極。知其榮、守其辱、爲天下谷。爲天下谷、常德乃足、復歸於樸。樸散則爲器。聖人用之、則爲官長。故大制不割。二十九章に続く